

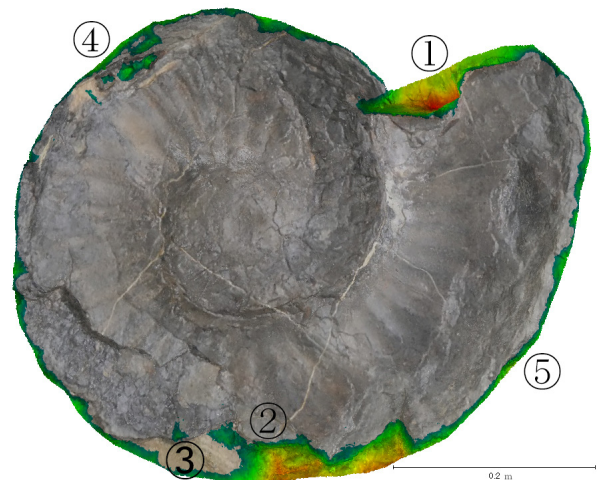
屋外文化財の劣化要因と保存対策に関する調査研究 (ホ04)

研究組織 朽津信明、白石明香(以上、保存科学研究センター)、前川佳文(文化遺産国際協力センター)

目的 屋外に所在する石造・木質文化財を対象に、覆屋の機能・遺構の露出展示に関する課題として、周辺環境等の劣化要因の究明及び修復材料・技術に関する研究を行う。また、石塔など石造文化財の災害事例及び災害対策に関する基礎的調査を行う。また、現在一時保管場所での長期的な保管を余儀なくされている被災文化財に関して、その保存・修復方法に関する研究を進める。

成果

1. 史跡である南相馬市の薬師堂石仏において、過去に撮影されていた写真に基づいて撮影時の形状を復元し、現状と比較することで劣化の進行について検証した。
2. 市指定天然記念物である天草市アンモナイト館で化石面の三次元計測を行い、覆屋建設前に取られていたレプリカの形状と比較することで、覆屋の保存効果について検証した。
3. 県指定有形文化財である茨城県の直牒洞において、表面を覆って沈着する緑色生物の繁茂と光環境との関係を調査し、繁茂を軽減する環境条件について解明した。
4. 名勝である田代の七ツ釜において、滝の修復以前に撮影されていた写真から形状を復元し、現状を計測して比較することで、名勝の修復について検証した。



アンモナイト化石の比較検証データ 色の付いた箇所が変異(劣化)箇所

論文

- 朽津信明：「文化財としての自然史資料の現地保存」『保存科学』61 pp.13-31 22.3

発表

- 朽津信明、犬塚将英：「常陸太田市・直牒洞の光環境と緑色生物」文化財保存修復学会第43回大会 21.7.15
- 白石明香、朽津信明：「過去の写真・三次元データを用いた薬師堂石仏の崩落の検証」文化財保存修復学会第43回大会 21.7.15

- 朽津信明、白石明香、藤隆宏、後誠介、柳沼由可子、西山賢一：「新宮市・九重の土砂災害慰霊碑の三次元印刷」日本文化財科学会第38回大会 21.9.19
- 朽津信明、白石明香、廣瀬浩司：「天草市・アンモナイト館における化石の現地保存とその評価」日本応用地質学会2021年度研究発表会 21.10.14-15